

『伊能忠敬研究』 第89号 目次一覧

■頁 表紙は -1、表紙解説・目次は 0 としています。
 ■凡 例 [ジャンル] ●=日記 ■=史料・資料 ◎=伊能忠敬 ○=周囲の人物 △=史跡めぐり
 [表 題] 《 》=誤記の訂正 例：伊能図探究 第一〇号 伊能図見て歩き (三) 《 (四) 正当》
 [] =内容の注記 例：伊能家文書紹介 十一 その二 枇榔嶋〔日向国臼杵郡〕

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
89号	表紙	1	表紙 伊能忠敬研究 二〇一九年 第八十九号 史料と伊能図	伊能忠敬研究会	89--1	20191031
		2	表紙解説 アメリカ議会図書館蔵 伊能大図23号 部分(釧路)	菱山 剛秀	89-0	
		3	目次		89-0	
	◎下利根川沿実測図	4	下利根川沿実測図の針穴 質問〔W様からの電話〕と回答 伊能忠敬記念館に問い合わせたところ、測線の屈曲点は基本的にすべて針穴があるようです、との回答 この回答は筆者にとって衝撃であった 「下利根川沿実測図」の針穴を確認 「下利根川沿実測図」の性格 江戸時代は徹底した文書行政の時代 『下利根川沿実測図』もまた、忠敬が寛政六年二月の幕府勘定奉行の佐原村新田・粉名口視察のために作製して提出し、その控図が伊能家に残ったものとする 同じ寛政六年二月作製の『地境に付取替絵図』にも針穴を確認することができた。次号で紹介する	玉造 功	89-1	
					89-2	
					89-4	
●量地伝習録	5	『量地伝習録』を読む② 先生ノ家法、添羅針ヲ用ヒ順逆ニ計ル	前田 幸子	89-5		
		はじめに				
		『量地伝習録』上巻の内容				
		『水盛』 『象限儀』				
		『分間』				
		『分度矩』 『厘尺』				
		『紙盈縮』				
		『絵図仕立』				
		①【原文】水盛台、象限儀		89-6		
		②【原文】分間		89-8		
③【原文】分度矩、厘尺		89-9				
④【原文】紙盈縮		89-10				
⑤【原文】絵図仕立						
		下絵図を引く前に野帳の上で八線表を使って東西南北の直径(水平距離)を推歩(計算)しなければならない 紙上においては、分度矩は羅針であり、厘尺は間縄である。分間をするには初めに間(長さ)を測り、そのあと方角を測る。絵図を引くときは、先に方角を定めて後に間を測るのである 紙上においては、分度矩は羅針であり、厘尺は間縄である		89-12		
		別掲 象限儀① 象限儀②		89-15		
		別掲 絵図仕立		89-16		
◎平山郡蔵の書状	6	平山郡蔵の書状《その三》	玉造 功	89-17		
●加賀藩測量〔享和03癸亥年第四次測量(1803)〕	7	史料紹介 「高島厚定職事日記」-伊能測量隊越中氷見町宿泊の記録-	室山 孝	89-23		
		当時氷見町を管轄した加賀藩の今石動(いまいすぎ)役所(現在の小矢部市に置かれた奉行所)の「支配」(奉行に相当)であった高島五郎兵衛厚定が書き残した職務日記 文中に「鉄くさり〔鉄鎖(てつさ)〕」「磁石〔彎窠羅鍼〕」「ちうほうい〔中方位盤〕」「象限儀」「帳面」などの測量道具名が登場する				
■測量隊の足跡をたどる	8	「伊能忠敬測量隊の足跡をたどる」連載第二十三回〔第8次測量(九州第二次 島原~大村) 1812.12.14~1812.12.26(文化09.11.11~文化09.11.23)〕	監修 渡辺 一郎 編著 井上 辰男	89-31		

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日			
89号		9	コラム 「伊能図の成立過程に関する学際的研究」が始まる 研究代表者は徳島大学平井松午教授	玉造 功	89-35	20191031			
	●下北半島 測量〔享和 01辛酉年第 二次測量 (1801)〕	10	宗平・慶助、厳冬下の下北半島を測る－田名部代官所「警備日誌」より－ はじめに 下北半島、ホントに測量したの？ 『伊能忠敬測量日記』と田名部代官所「警備日誌」 「警備日誌」青森県立図書館蔵「菊池家文書」 伊能忠敬測量記録十八ヶ所、全文紹介 田名部代官所の対応と測量隊の動向 三沢村、大吹雪の中で立ち往生 宗平と慶助の分遣隊、大難所に向かう 宗平・慶助分遣隊の宿泊地、特定できず 伊能本隊と分遣隊の行程表 北前船の寄港地として繁昌した佐井村 「南部焼山の事」 下北半島測量の必要性	戸村 茂昭 原著 河崎 倫代 校訂	89-36				
							89-37		
								89-38	
								89-40	
								89-41	
								89-43	
								89-44	
					Ｔ氏のブログ『おらァ 下北半島サ 居るダ!』『伊能忠敬下北半島記(1)～(8)』より写真を掲載 小荒川河口付近から源藤城までを比較してみる 〔ブログ〕『おらァ 下北半島サ 居るダ!』より			89-46	
								89-47	
					おわりに 地理院地図(陰影段彩図)に地名を記入〔下北半島〕		河崎 倫代 記	89-47	
		忠敬談話室	11		伊能忠敬と関わって 伊能図の閲覧 道内における伊能大図展 蝦夷地測量を日記に読む 忠敬に関する執筆 忠敬文献の探索 一雑誌を読んでいたら、書誌を作成するのであれば、 頁数も記載した方がよい、と書かれていた。私はすぐこの事に 納得し、調査をやり直すことに決め、今まで行った図書館も総 て再度訪館して再調査した		高木 崇世芝	89-48	
									89-49
									89-50
					89-51				
					89-52				
		12	伊能忠敬と私 九十九里町にある伊能忠敬記念公園に行った時の事です。 そこに建っている「伊能忠敬先生出生之地」の石柱の側面に石 柱建立賛助者として、忠敬の長女である稲女の夫、稲生盛右衛 門の子孫〔稲生勘兵衛〕と並んで「姻戚 高宮三雄」の名前が 彫られていました。その姻戚の二文字は義父が子孫に残して呉 れた貴重な証だと実感しました	高宮 リヨ子	89-52				
					89-53				
		13	子午線儀の実物を展示 萩・明倫学舎(山口県) 〔伊能忠敬が使ったものを複製した〕象限儀と子午線儀 提供者は「複製」のカタログ表記に不機嫌	平田 稔	89-53				
					89-54				
	九州支部だ より	14	令和元年度九州支部総会報告	九州支部長 石 川 清一	89-55				
	会員便り	15	伊能忠敬測量日記より「忠敬、鳥取を測る」出版 鳥取県における伊能隊の足跡	田中 精夫	89-55 89-56				
	奥付	16	投稿要領・研究会案内・編集後記(H)	(H)	89-57				
		17	2019年10月31日発行 発行 菱山 剛秀 伊能忠敬研究会	編集 高安 克己 発行 菱山 剛秀	89-57				